

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2970800286		
法人名	社会福祉法人 仁南会		
事業所名	つづら・すじやく		
所在地	奈良県御所市柏原721-1		
自己評価作成日	平成24年1月25日	評価結果市町村受理日	平成24年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>個々の要望に応じ、買い物ドライブ、四季折々の行事に参加頂き、心豊かに明るく、穏やかに過ごして頂き、その人らしく生活できるように支援させていただきます 今後は今以上、家族や地域との交流を深め、地域に貢献できる施設になる様取り組みたいと思います</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成24年2月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>介護老人福祉施設を中心とした法人事業のこれまでの取り組みの中で、グループホームの必要性を認識し、開設されたホームです。地域とのかかわりを重視した理念を掲げ、一人ひとりの生活歴、性格、思いを把握し、毎日楽しく過ごすためのケアとはどのような暮らしかを、職員一同本人の立場に立ち、常に追求されています。実際、ケアはきめ細かく、様々な工夫や配慮が見られます。 森と田園に囲まれた自然豊かな地域の町の中に立地し、建物はバリアフリーで、五感刺激や季節感にも配慮した設えにする等居心地よく過せるよう工夫されています。意見箱の設置や満足度調査を実施する等サービスの質の向上に取り組み、家族との厚い信頼関係が構築されています。さらに、一人ひとりの生活歴を活かした支援や夫々の能力に応じた役割、楽しみごとの支援等入居者が穏やかに過ごせるよう支援されているホームです。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に掲示し、朝の申し送り時に唱和し意識を高め実践する様努めている	地域とのかかわりを重視した理念を掲げ、申し送り時に唱和し共有に努められています。	理念は、サービスを提供する上での拠り所ですから、今後は、さらに実践につながるよう、日々のサービスの提供場面を振り返り、理念をケアに反映されているかを確認する等の取り組みが望まれます。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの郵便局や店に出かけたり、駅に花のプランターを置き水やりなど世話をしている	日常的に散歩の他、郵便局や買い物に出かけ、地域の人たちとあいさつを交わしたり話をしたりされています。駅に花のプランターを置き水やりなどの世話をする等入居者が地域で暮らし続けるための基盤作りに努力されています。	暮らしとはホームの中だけで完結するものではなく、地域との相互関係の下に成り立っていますので、今後さらに、共に暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を積極的に担っていく努力を期待します。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の方々と生活の中で関わりを持ち、認知症の人の理解と支援方法など話すことによって地域の人々が気軽に相談していただけるような施設をめざしている		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し利用者、家族の意見や希望を聞いたり、行事に参加いただきサービスの向上に活かしている	会議は、家族、地域の代表者、行政職員等の参加の下、2月に1回定期的に開催され、ホームの近況報告と今後の課題について話し合い、サービスの向上に活かされています。	サービス評価は、ホームの現状を明らかにし、次のステップに向けた目標を実現するために、運営推進会議のメンバーが協力者やモニター役となってくれることが重要ですので、今後はサービス評価と運営推進会議を結びつける取り組みが望まれます。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への出席を依頼している 部屋の空き状況を報告し入所希望者の確認をしている	入居申し込みがあった時等の機会に、市職員と相談する等連携に努められています。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会があり職員の正しい理解と対応を話し合い取り組んでいる	身体拘束廃止委員会において身体拘束をしないケアについて話し合い、職員の正しい理解と対応の徹底を図るようにされています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加しレポートを提出する また職員会議で発表報告している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度の研修に参加しレポートを提出する また職員会議で発表報告している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に重要事項説明書を提示し説明している またカンファレンスを行い家族の思いや不安等を聞く機会をつくっている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し気軽にご要望など聞けるようにしている 満足度調査を実施しご意見を聞き反映させている	家族の訪問時等の機会を捉え、常に問いかけたり、意見箱の設置や満足度調査を実施する等、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに配慮する他、外部に意見・苦情を表せる機会や場があることを説明されています。出された意見等は検討し運営に反映されています。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を行い意見や提案を聞き内容を検討している	毎月1回全体会議を開催し、意見交換が行なわれています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の能力に合った担当を付けたり、勤務時間体制をとっている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれに合った研修に参加する機会を増やしている また、資格を取るよう協力している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡会(奈良県老施協)に参加している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面接時要望や不安なことなど聞いたり 日々の生活の中で信頼関係をつくるよう努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の面接時や入所後の面会時にご意見やご要望など気軽に話せるような関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の様子や家族が何を希望しているかを聞き より良い支援ができるよう努めている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の能力に応じて出来ることはしていただくよう対応している		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在の様子をこまめに伝え 家族との関係を大切に面会や外出の機会を増やしていただけるようお願いしている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙やハガキを出す、神社や寺の参拝、知人や家族との外出、ドライブで立ち寄りなど	馴染みの美容院や墓参りに出かける等他、地域に暮らす知人の訪問がある等、馴染みの人や場の関係継続の支援に努められています。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日にはみんなでお祝いをする お互いに手伝ったり面倒みたりしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族からの相談があれば応じている また次の施設にお願いの連絡を入れる		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に本人の気持ちを第一に考え検討している	日々のかかわりの中で、声を掛け、把握し、言葉や表情などからその意思を推し測ったり、それとなく確認するようにされています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の暮らし方や生活環境などを聞きながらその人に合わせた支援を行っている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事の準備、洗濯物干し、たたみなど能力に応じて行っていただいている 日常の変化は連絡ノートに記入したり会議で話し合ったりして把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6か月毎にケアプランの見直しを行い毎月職員会議で個別ケアや問題点を話し合い介護計画を作成している	本人や家族には日頃のかかわりの中で、思いや意向を聞き、反映させる他、アセスメントや、日々の記録を基に職員間で、意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い現状に即した介護計画を作成されています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌に気づきや問題点などを記入し必要であれば会議で話し合い計画見直しに繋げている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の変化に伴い 家族と話し合いを重ねその都度実践しながら対応している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の望む店や美容院に出かけ楽しんでいただける様支援している		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望する病院での受診を支援している。病状等については担当医と相談している	本人や家族が希望するかかりつけ医とし、基本的には、家族同行の受診となっていますが、状況に応じて職員も同行されています。普段の様子等の情報を伝え、受診結果についても共有されています。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調不良や怪我などの時は他部署の看護師に相談し受診等を検討している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院医療相談課の担当者と病状や経過について相談している		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	カンファレンスを開き家族の思いや今後について再確認している。また事業所で出来ることを再度伝えている	運営方針として重度化に対応しないこととされており、契約時等できるだけ早期から重度化した場合や終末期のあり方、ホームが対応し得る最大のケアについて説明し、本人、家族等、かかりつけ医等ケア関係者との話し合いを繰り返し、その時々本人・家族等の意向を確認しながら、対応方針の共有を図るようにされています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日誌ファイルに応急処置の基礎知識を綴じいつでも確認し対応できるようにしている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を行っている	マニュアルを作成し、定期的に避難訓練等を実施されています。災害時には、施設職員の応援体制が整えられています。食料等の備蓄もなされています。	いつ、どんな種類の災害が起きるかを予想することは困難です。今後は、職員だけの対応には限界がありますので、地域の協力体制の構築に向けて検討されるよう期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナー委員会やマナー研修を通じ常に心がけている	人格の尊重に配慮した言葉掛けや、援助が必要な時も、さり気ないケアを心がけて対応されています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉づかいについて研修し 日頃の声かけの中から思いや希望を聞くよう努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に本人の思いやペースに沿った支援を行うよう努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣の時服を選んでいただいたり 化粧品や衣類を買いに出かけている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けなど出来る範囲で一緒に行っている また見ている方にも 出来るまで楽しんでいただける様声かけをしている	調理、盛り付け、配膳、後片付け等個々の能力に応じて職員と協働して作業をする等食事への関心を引き起こす工夫がなされています。	職員は弁当を持参し、サポートに徹し休憩時間に昼食を摂られています。食材費の負担や休憩時間等の兼ね合いもありますが、ホームの特性を踏まえ、利用者と一緒に同じ食事を楽める環境づくりへの取り組みについて検討されるよう期待します。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりバランスや量は確保している 10時15時には それぞれ好みのおやつと共に水分摂取を促している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後 必要に応じて歯磨きの声かけや介助を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせ声かけや見守り また定期的なトイレ介助を行っている トイレでの排泄に心掛けている	排泄表を使用し、時間を見計らって誘導しトイレで排泄できるよう支援されています。確認や誘導はあからさまではなく羞恥心に配慮した支援をされています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	リハビリ体操や腹部マッサージをしたり歩行を促す 牛乳・ヨーグルト・バナナなど 個々に応じて摂取している Drと相談して下剤を服用している		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本月～土の9時～17時に入浴（個々の時間は決めてない） 一人週3回の入浴であるが排泄の失敗や本人の希望があれば可能な限り対応している	入浴日や時間帯は決められていますが、利用者の希望に沿った支援ができるよう努力されています。	入浴行為は、利用者の習慣や希望に多様性があり、それを活かすことが、本人や家族の安心と満足、体調の改善等につながります。今後は、更なるサービスの向上を目指し、こうしたことに配慮した支援が期待されます。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の希望や状況に応じ休んでいただけるよう支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の内容チェックと目的、副作用など理解し変更などあれば連絡ノートに記入し全員分かるよう努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	クラブへの参加や散歩、買い物などその方に合わせて支援している		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な範囲で本人や家族の希望に沿えるよう外出を支援している	入居者の希望に沿って、戸外での日光浴を始め、散歩、買い物・ドライブ等日常的な外出の他、墓参り、法事等にも出かけられるよう支援されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望者は現金を持ち買い物に行き支払をしている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ自由にしている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔にし、温度や照明、音に気を配り、季節に応じた飾りつけや花々を飾るよう心掛けています	建物はバリアフリーで、床や壁面は落ち着いた色調にされており、リビングは適度に明るく掃除が行き届き清潔感にあふれ、調理作業が見えるキッチン等の他、季節の生け花や置物等が飾られている等、五感刺激や季節感にも配慮され居心地よく過ごせるよう工夫されています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	部屋やリビング、庭などで過ごしていただける様 工夫している		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や持ち物など必要品は本人が使っているものを持参いただくようお願いしている	家具やテレビ、写真等思い出の品々が持ち込まれる等、本人が居心地よく過ごせるよう工夫されています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋はその方の家として表札を付けたり工夫している トイレは分かるよう表示している		